

2. 1者応札・1者応募に係る改善方策について

意見・質問	説明・回答
<p>・入札公告から入札日までの期間を可能な範囲で延長するという点については、仕事の進め方にかかっているものであり、実現には計画性を持って早めに取り組むことが必要であるので、そのような根本的な部分を配慮して進めていただきたい。</p> <p>・金融庁は情報システム関係の調達が多く、コストもかかっているが、コスト削減のため、その分野の人材育成を、金融庁独自で行うという考えはあるのか。</p> <p>・改善方策のうち、情報提供の拡充が先決であり、その後に応募要件の緩和を弾力的に行っていくのが良いと考えられる。</p> <p>・契約形態として随意契約が適当であるにもかかわらず、ただ形式を整えるためだけに入札を行っても、入札が形骸化し意味が無いのではないか。</p>	<p>・当庁としては、情報システム関係の人材育成は重要と考えており、中途採用を積極的に行うとともに、初級向けから上級向けまでのシステム研修への派遣も行っている。</p> <p>但し、全て当庁独自で行うことは難しいため、業者に委託する場合に、当庁が求める質や成果を厳しくチェックできる者や業者と対等に会話ができる者等の育成、確保に努めている。</p>